

発行所株式会社空調タイムズ社  
本社 (〒105-0013)  
東京都港区浜松町2-3-29  
(磯山第2ビル)  
電話代表番号 東京3433局6501  
FAX:東京 3433-6505  
関西支社 (〒530-0015)  
大阪市北区中崎西1-4-22(梅田東ビル)  
電話代表番号 大阪6312局6061  
URL http://ac-times.com

### 流浸工業

## 需要拡大、鮮明さ増す

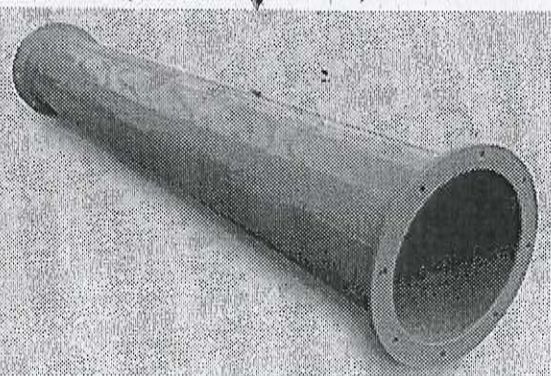
### コーティング鋼管「リユースコート」シリーズ

流動浸漬法によるコーティング鋼管のパイオニア、流浸工業（社長 久保幸廣氏、本社・大阪府堺市美原区大保225）が自社ブランドで展開する「リユースコート」の需要拡大が鮮明さを増している。関東地区の大型施設、都市部の再開発プロジェクト、新築物件や既設配管設備の改修などに相次いで採用されているもので、量的拡大が続く現状を関東事業部長・大久保秀俊関東事業部長は「重量比で見ると前年の倍以上」と話す。これまで管工機材・設備総合展など関連する展示会への出展やスペックイン活動に地道に取り組んできたが、ここに来てそうした提案活動が一気に開花した恰好で、同社では一層の需要喚起に取り組む方針。

流浸工業が国内でいち早く技術導入した流動浸漬法は、流動浸漬用パウダーを入れた槽の下部に多孔質の隔壁を設け、ここに圧力をかけた空気を注入、圧力で隔壁上部の粉体を均一に浮かす。この流動層に加熱した基材を浸漬することでピンホールのない均一な塗膜（膜厚200μ以上）を形成するという技術。ナイロン11、塩ビ、EVOH、ポリエチレンなどの樹脂を流動浸漬法により鋼管の内外面にコーティングする「リユースコート」、同工法を用いて1.6tスパイラル鋼管に塩ビコーティングを施す「リユースコートLight」、1.6tのダクトに塩ビコーティングを施す「リユースコートダクト」などを手がけている。

大型施設や再開発関連

案件で採用されているのがリユースコートLight



リユースコートLight

t及びリユースコートダクト。板厚6tの薄型フラッシュの使用により、大幅な軽量化を実現しており、施工のスピードアップを実現する。腐食に強く耐候性にも優れ、臭突管や排気管などの配管腐食対策に適する。口径1

実績伸長はすでに全国区。例年だと需要がいつたん落ち着く3月5月期でも引き合いは増勢傾向。前年同期比で倍以上の伸び」（大久保事業部長）だという。今後さらにリユースコートの機能訴求に注力する構えだ。

50Aと500Aまで対応。現場施工の省力化が図れる利点が採用増につながっている。

地域別では首都圏、関東地域と名古屋を中心とした地域での採用事例が多いが、西日本でも大型プロジェクトで導入される例が相次ぎ、